

テーマ：こんな時、子どもに何と言う？

ねらい

わが子に対して普段どのような言葉かけをしているかを振り返り、子どもが納得するような肯定的な言葉かけや提案の言葉かけを考える。

時間	主な活動	留意点
2	<p>【はじめに】</p> <p>わが子に対して、普段よく言う言葉は何でしょうか。「早くしなさい」とか「～してはだめよ」など、せかしたり禁止したりする言葉が多いかもしれませんね。</p> <p>今日は、子どもが「うん、わかった」と納得するような言葉かけを考えてみましょう。</p>	
5	<p>【アイスブレイク】</p> <p>① あいこジャンケン(2分間)</p> <p>② 4人組をつくる。</p>	<p>① あいこになったら自己紹介をして握手をし、次の相手を探してもらおう。</p> <p>② 終了時にペアになっている相手と他のペアで4人組を作ってもらおう。</p>
15 20	<p>【アクティビティ】 準備物：ワークシート</p> <p>① 普段のわが子への言葉かけを振り返る。</p> <p>1) ワークシートに○、×、△を記入する。</p> <p>2) 一項目ずつ確認し、どうしてそう思うか全体の場で理由を発表し合う。</p> <p>② 肯定的な言葉かけや提案について話し合う。</p> <p>1) ワークシートに、自分なら何と言うか、肯定的な言葉かけや提案を考えて書く。</p> <p>2) 一項目ずつ、グループで話し合う。</p> <p>3) 返事が困りそうな場面を想定し、みんなで言葉かけを考える。</p>	<p>① 正解は決まっていないことを最初に伝えておく。一項目ずつ○の人、×の人、△の人と挙手をしてもらい、全体の場で理由を尋ねる。全ての回答に納得を示す。</p> <p>② 子どもが納得して「うん、わかった」と言いそうなことをイメージして、肯定的な言葉かけや提案の言葉を考える。返事に困りそうな場面については、その例を示す。</p>
5	<p>【ふりかえり】</p> <p>① 今日のワークショップで感じたこと、気付いたことをグループで話し合う。</p> <p>② 全体で発表する。</p>	<p>① まずグループ内で、感じたことを伝え合い、全体の場で共有するようにする。(全体での発表は強制しない。)</p>
3	<p>【まとめ】</p> <p>話しかけて否定される言葉が返ってくると、子どもはしだいに話したくなくなります。反対に、笑顔で「～ならいいよ」と肯定的な言葉が返ってくると、「話してよかった」という安心感が生まれます。</p> <p>こうした経験を繰り返すことによって、子どもは困ったことがあった時に「話してみよう」という気持ちを抱きます。普段からの肯定的な言葉かけが、子どもの「話したい」という気持ちを一層促します。</p>	